

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1987 7・8

第19回通常総会報告

5月にふさわしい快晴の日に総会は開かれた。本人出席の会員は例年通りで、議事案件は余裕をもって滞りなく終了した。以下、総会の概略です。

正会員の本人出席30名、定款による委任状提出者は228名で、合計258名となり、総会は定刻に成立した。

議題、報告事項等は5月初旬に事前郵送の内容に準拠して進行した。特に本年は片谷議長の見事な審議進行で、時間的にも実にスムーズな総会となりました。以下、当日ご臨席の来賓、総会3役、本人出席正会員、オブザーバー出席の賛助会員他のお名前を列記して、当日の審議ご協力に感謝いたします。

なお、総会に当たっての詳しい資料は事務局にありますので、当日都合のつかなかった方は機会をみてごらん下さい。

。ご来賓 通産省検査デザイン課

森田 守氏（デザイン奨励班長）

。総会3役

議長 片谷 充克

議事録署名人 後藤 宣夫、山本其観代

書記 鈴木 栄二

。本人出席正会員

秋山 修治、飯田 公久、泉 修二、大野美代子、

榎田 均、木村戦太郎、要 信一、宇賀 敏夫、

目次

●第19回通常総会報告	1
●1986協会賞贈賞式・野口記念賞 授与式とパーティ	2
●昭和61年度の費目構成	3
●4事業支部の昭和61年度事業報告	3
●62・第1回理事会議事録	6
●中小企業等基盤強化税制の創設について	8
●委員会の動き 国際委員会	9
交流委員会	11
総務委員会	11
●事業支部の動き 関東事業支部	15
関西事業支部	15
●樋口 治さんに藍綬褒章	19
●新入会員の紹介	23
●会員の異動	26
●事務局短信	31
●事業支部の動き（追加）中部事業支部	32

片谷 充克、後藤 宣夫、島崎 信、鈴木 榮二、
田中 聡行、田辺 麗子、垂見 健三、長 大作、
中川 千早、西澤 圭三、細井 一夫、森谷 延周、
諸富 幸成、山品 元、光藤 俊夫、川上 信二、
長岡 貞夫、山本其観代、渡辺 優、吉池 守、
樋口 治、山内 陸平 (50音順)

。オブザーバー出席者

(賛)象印マホービン株式会社 井上 経倫氏
税理士 小野事務所 小野木日出勝氏
名誉会員 工藤 広忠氏
(順不同 敬称略)



総会に出席の会員



要 信一氏(新名誉会員)に感謝状

1986協会賞贈賞式・野口記念賞 授与式とパーティ

5月29日(金)開催の通常総会終了後、小憩ののち、
午後5時より全郵政会館大ホールで両賞の贈賞式・授与

式が行われた。司会進行役は森谷延周会員が担当した。
選考経過報告は川上信二選考委員長により行われた。

協会賞・野口記念賞(本年度は野口記念賞は該当作品
なし)は渡辺優理事長より以下の受賞者各位に贈られた。

1986 J I D協会賞

作品 「レストラン ノマド 他一連のデザイン」

伊東 豊雄

贈賞理由

「柔らかな空間」という独自のコンセプトで、素材と
表現というインテリアデザインのテーマに鮮明な痕跡を
残した作品であると評価された。

デザイン活動の展開を行っていることが評価された。

野口記念賞関係

1986年度野口記念賞は、8枚23点の応募があり、昭和
62年3月18日(水)午後4時より第1次審査が行なわれ、
審議の結果7枚11点の作品が第1次審査を通過した。

第2次審査は昭和62年4月15日(水)午後5時より、
第1次審査を通過した11点の応募パネルについて行なわ
れた。慎重審議の結果、野口記念賞・該当作品なし、野
口記念奨励賞・4作品を決定した。

記

野口記念賞 該当作品なし

野口記念奨励賞 (4点)

宮城 光雄(東京)(専)日本デザイナー学院

岡本 直己(〃)(〃)桑沢デザイン研究所

竹内優美子(〃)(〃)インテリアセンタースクール

中 陽子(〃)(〃)インテリアセンタースクール



1986協会賞を贈られる伊東 豊雄氏

ひき続き、受賞者の喜びの言葉が述べられた。まず、
伊東豊雄氏が、都市における自然感覚の考え方を独自の
表現で披露され、同席の人々の共感を呼んだ。

この後、祝賀パーティに入ったが、パーティに先立っ



祝賀パーティ

て、別項にご紹介の樋口治氏藍綬褒章受賞の披露が行われ、記念品を贈呈して、その栄をたたえた。樋口夫妻より感謝の言葉が述べられた。

時間の都合上、祝賀パーティのみの出席者も加え、和やかな一タとなった。歓談は午後8時頃まで続き、再会を期して散会となった。総務委員会の委員をはじめ、準備にお手伝いいただいた会員各位に心より御礼申し上げます。（文中敬称略・順不同）

昭和61年度の費目構成

例年のように、事務局では5月下旬の通常総会に先立って、費目構成比率の（表）を作成します。議案書に掲載の収支決算報告書を理解する一助にさせていただくためです。業務多忙で5月30日の総会に出席できなかった会員各位の便のために、誌上に再録し、簡単に報告いたします。

◆ 収入面

会費収入は予算対比ほぼ100%で、所期の目標を達成しました。反面、事業収入は全体で57%にとどまりました。これは本部事業で95%、支部事業で150%に達しながら展覧会等の特別事業の見送りが原因となったためです。

その他収入については全体で予算対比136%と伸びを見せました。これは資産運用益が寄与したためです。

◆ 支出面

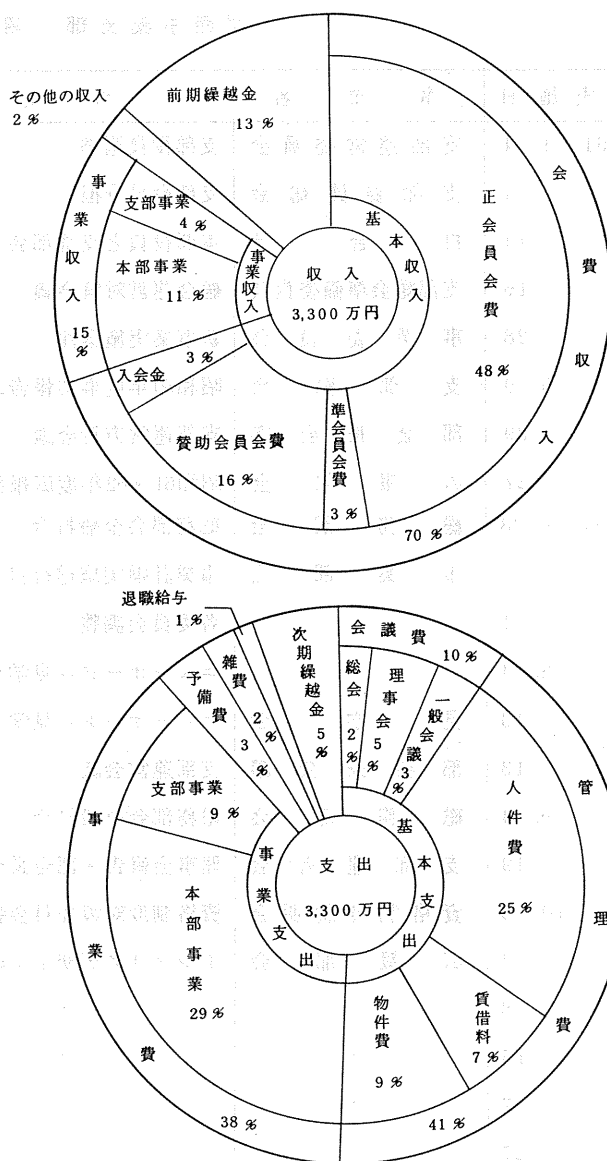
事業費については予算対比83%の実行です。その内容は収支決算報告書のように、本部事業関係75%、4事業支部関係124%となりました。

会議費支出は全体で125%の実行を示しました。総会関係108%、理事会149%の他、全国規模の開催な

ど活発に実施した一般会議が予算対比上243%と大きな数字となったためです。

また、円グラフに見るように収支両面での実質比率（全体と各費目間のパーセント）は次のようになっています。会員の年会費、事業収入や本部事業と支部事業、人件費などの管理費対比もごらん下さるようお願いいたします。（事務局）

昭和61年度決算の費目構成比率



4 事業支部の昭和61年度事業報告

去る5月29日、東京で開催の、第19回通常総会で報告の昭和61年度関東、関西、九州、中部各事業支部事業報告を簡単な表としてご報告いたします。委員各位のご努力を理解したいと思います。

関東事業支部 昭和61年度事業報告

実施日	事業名	事業内容	場所	参加数	備考
9.30	第1回委員会	61年度の事業計画	本部会議室	5	
11.28	見学会	世田谷美術館と設計者 (内井昭蔵)のセミナー	世田谷美術館	76	
62. 2.27	第2回委員会	62年度の事業計画	本部会議室	5	
3.20	見学会	佐々木硝子(株)東京工場	墨田区同工場	37	

関西事業支部 昭和61年度事業報告

実施日	事業名	事業内容	場所	参加
61. 4. 4	支部運営委員会	支部役員選挙	大阪デザインセンター	15人
4	支部委員総会	支部役員分担	"	12
14	打合せ	本部役員と支部部長打合	"	5
16	支部総会準備委員会	総会運営対策会議	ジャパン・インテリア・デザイン	4
28	事業委員会	新事業実施案件	日航ホテル	5
5. 9	支部総会	昭和60年度事業報告および収支決算その他	大阪デザインセンター	21
29	部会長会議	支部運営方針会議	ジャパン・インテリア・デザイン	4
27	広報部会	昭和61・62年度広報部会活動計画	大阪デザインセンター	5
61. 6.28	総務部会	総務部会全般打合	大阪市南区	
7. 5	事業部会	事業計画実施遂行打合	大阪デザインセンター	
11	"	各委員会調整	"	
8. 4	"	ニューオータニ見学会打合	"	
13	見学会	ニューオータニ見学	大阪市東区	
13	部会長会議	支部運営会議	ジャパン・インテリア・デザイン	
9. 4	総務部会	総務部会全般打合	大阪市南区	
19	支部運営会	理事会報告・部会長会議報告・その他	大阪デザインセンター	
10. 3	資格制度説明会	資格制度対策委員会報告説明会	"	
3	広報部会	インテリアデザイン編集会議	"	
8	"	"	"	
15	"	"	スペースデザイン オフィス・ピーイング	
17	"	"	"	
27	"	" (座談会)	大阪デザインセンター	
12. 3	総務部会	総務部会全般打合	"	
9	支部運営会	理事会報告・委員会報告・その他	大阪市南区	
62. 1. 8	部会長会議	支部運営会議	"	
21	総務部会	親睦会打合(サロン開設を含む)	ジャパン・インテリア・デザイン	
2.18	"	" (")	"	

実施日	事業名	事業内容	場所	参加
25	研修会	西日本インテリアスクール特別セミナー講師派遣	岡山市	
28	支部運営会	理事会報告・委員会報告・その他	全日空ホテル	
3. 5	研修会	第6回木工業活性化セミナー講師派遣	徳島市	

九州事業支部 昭和61年度事業報告

実施日	事業名	事業内容	場所	参加数
61. 6. 4	支部総会	60年度の諸報告と反省 61年度事業計画案とその他	福岡市	14名
6. 6	第1回委員会	会員作品展 その他	久留米市	5名
7. 13	九州事業部 ニュース№2	資格制度対策委員会 インテリア産業九州支部会員加入 会員作品展		
10. 25	研修会	コンピュータ、プロッターによる インテリア設計研修と実技	福岡市	8名
11. 14	第3回委員会	理事会、支部報告、会員作品展	久留米市	7名
11. 18	九州事業支部 ニュース№3	支部報告 北九州デザインフェスティバル'86 大川木工産業資料館 インテリアプランナー資格問題		
12. 18	年末懇親会	会員、親睦及作品展打合せ	福岡市	13名
62. 1. 9	会員展出品打合せ	出品者最終打合せ会議	県美術館	17名
1. 27 2. 1	'87九州会員作品展	会員18名出品 テーマ「マイワーク・マイデザイン」を発表	福岡県立美術館	3,806名
2. 6	会員作品展反省会	出品者懇談会と作品展反省会	久留米市	14名

中部事業支部 昭和61年度事業報告

実施日	事業名	事業内容	場所	参加数	備考
61. 5. 29 30	家具展	優良家具展（理事長賞を贈賞）	吹上ホール	18,000	主催 愛知県家具団体
6. 14 15	総会及び懇親会	60年度支部総会及び 北陸地区懇親会	大津市	19	
7. 5	研修会	デザインコンセプトの原点をさぐる	(株)サンゲツ		JCD協賛
8. 1	デザイン講習会	ヨーロッパの新しいインテリアデザイン	丸栄ハローネ	129	5団体共催
10. 4	見学会	見て・ふれて・体験して	電気の科学館	19	
11. 11 12. 3	研修会	中小企業の近未来デザイン戦略	産貿館	33	5団体共催

実施日	事業名	事業内容	場所	参加数	備考
11. 26 27	研 修 会	アジアデザインフォーラム '86名古屋	名古屋銀行協会		デザイン 推進準備会
62. 1. 30 2. 1	総合見本市 (展示会)	新素材と生活文化展	吹 上 ホ ー ル	65,400	主催 生活用品 振興センター
2. 27	講 習 会	インテリア家具のための コンピュータデザイン	愛知県 工業技術センター		4 団体共催

62・第1回理事会議事録

1. 日 時 昭和62年 5 月 29 日 (金) 10:30～12:30 PM
2. 場 所 全郵政会館 B F 会議室
東京都渋谷区千駄谷 1-20-6
3. 出席者 (別掲の通り)
4. 議 題

I, 議 案

第1号議案 第19回通常総会について

第2号議案 協賛・後援名義承認の件

第3号議案 入退会承認の件

第4号議案 昭和62年度野口記念基金事業暫定予算案承認の件

第5号議案 議事録署名人選任について

5. はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、午後の総会を控えて、議事進行に協力が求められた。

また、オブザーバー出席の正会員 片谷充克氏(関東支部)の紹介が併せ行われた。

第1号議案 第19回通常総会について

報告事項(1)にあるように通常総会への出席回答状況は良好であり、事務局より議事進行(案)が提出された。例年通りの手順で時間を有効に、かつ内容を効率よく審議を進めることが討議され、理事会はこれを了承した。

また、来賓としては検査デザイン課長・長尾梅太郎氏の代理として森田守デザイン奨励班長の臨席が予定されている旨、事務局長より報告がなされた。

尚、総会議案書 p 18, 昭和62年度新事業組織(予定)中、新設予定の委員長人事については総会議案承認後、早急に正副理事長協議の上候補を煮詰め、決定して行くことが了承された。

第2号議案 協賛・後援名義承認の件

議長は次の2件およびその他1件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行ない、また、前例にならって実施した項目について報告した。議長はこれを諮り、理事会は次の2件につき異議なく承認した。その他1件については否決した。

○ 「世界デザイン会議 '87 アムステルダム」

参加ツアー……………<協賛>

主催 (社) 日本インダストリアルデザイナー協会
(62.8.15～29)

○ 国際デザイン交流展 '87 いしかわ……………<後援>

主催 国際デザイン交流展いしかわ
(62.10.31～11.3)

第3号議案 入退会承認の件

議長は次の15件につき、事務局長に内容説明を求めた。事務局長は各々の提出資料に基づき説明を行った。

・正会員の入会(12件)

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
伊藤 基恭	正会員	福田 友美・森谷 延周
松本 豊	"	篠島 良介・鐘ヶ江茂則
川池 昭子	"	泉 修二・飯田 公久
野原 建広	"	阪井 良種・栗原 哲男
若井 修子	"	田辺 麗子・田中 聡行
相澤 晴夫	"	加藤 雅士・山品 元
浅野 盛治	"	川上 信二・山本 棟子
佐々木久江	"	山岸 征史・吉良 ヒロノブ
福王 博二	"	榎田 均・山品 元
野沢 弘子	"	嶋 佐知子・飯田 公久
伊藤 公一	"	森谷 延周・福田 友美
李 泰久	"	矢吹 宏・日方 和城

・賛助会員の入会（2件）

名 称	種 別	紹 介 者
和信化学工業(株)	賛助会員	山品 元
(株)ダニエル	"	川上 信二

・準会員の退会（1件）

氏 名	種 別	
伊藤 浩子	準 会 員	

理事会はこれを諮り、いずれも異議なく承認した。尚、この他に退会申出1件が上程されたが、慰留すべきとの意見が出て、川上副理事長に委ね、説得することとした。

第4号議案 昭和62年度野口記念基金事業暫定予算(案)

承認の件

議長は予算(案)の内容について事務局長に説明させた。理事会は本年度はこの規模、内容で行うこととし、次年度は30周年記念事業との関連で活性化を図る方向で原案を承認した。内容以下の通り。

昭和62年度 野口記念事業暫定予算(案)

(単位:円)

科 目	62年度予算	61年度予算	増 減	備 考
前期繰越金	1,800,000	1,900,000	△100,000	
収入 財産収入	100,000	110,000	△10,000	運用利益
収入合計	1,900,000	2,010,000	△110,000	
支出 賞製作費	120,000	120,000	0	賞碑
印刷費	150,000	100,000	50,000	ポスター、出品表
通信費	50,000	50,000	0	郵券等
雑費	20,000	10,000	10,000	賃借費等
次期繰越金	1,560,000	1,730,000	△170,000	
支出合計	1,900,000	2,010,000	△110,000	

第5号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に宇賀敏夫・大野美代子両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会62・第1回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記すため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡辺 優 ㊟

議事録署名人 宇賀 敏夫 ㊟

議事録署名人 大野美代子 ㊟

62・第1回理事会出席者名

渡辺 優, 川上 信二, 大野美代子, 泉 修二 木村戦太郎, 森谷 延周, 樋口 治, 長岡 貞夫 山内 陸平, 宇賀 敏夫, 山品 元, (監事 榎田 均), (オブザーバー 片谷 充克) 理事総数15名中理事15名(本人11名, 委任状4名)
--

(敬称略・順不同)

6. 報告事項(9件)

(1) 第19回通常総会出席回答状況

回答状況は良好である。62.5.28 現在で、本人出席予定34名、委任状提出者217名、会計251名である。

総会成立の定足数は464名の過半数233名となっている。

(2) 通産省検査デザイン課長更迭

62.5.6付で長尾梅太郎氏が新たに着任し、前課長の藤原治一郎氏は地域整備振興公団に転出された。

在任期間は60.9～62.5であった。

(3) 昭和61年度会計監査状況

榎田監事より以下のように報告された。

「去る62.4.22, 本部事務局にて顧問小野木日出勝氏立合いのもとに会計監査を実施した。その後岡村監事にも同意を求め、監査報告書をまとめた。ここに理事会に文書を以て報告する」

(4) 「インテリアプランナー」試験関係

事務局より、(財)建築技術教育普及センターよりの資料として、①試験実施についての協力依頼書、②実施日程(案)が提出され、内容説明を事務局長が行った。

(5) 「最新版 インテリアマップ東京エリア」出版される。

長岡理事より表記出版物の説明と報告が実物によりなされた。62.6.1付の刊行であり、会員には各1冊宛、事業の果実として配布されることとなっている。

(6) 機関誌「インテリアデザイン」(103号)発行なる。

泉理事より機関誌発行について報告された。62.5.25付の発行であり、特集は「コンピュータ・インテリアデザイン」である。

(7) 昭和62年度春の褒章関係

昭和57年以来3年振りの受章者として、下記の方が5月27日藍綬褒章受章の栄に浴された。ご同慶の至りである。

・樋口 治氏(理事、正会員、関西支部)

尚、席上、これを機に同氏より寄附の申出があり、理事会はこれをお受けすることとした。目録の内容が事務局長より披露され、全員拍手を以て感謝の意を表した。

(8) 迎井 夏樹氏急逝

関西支部所属の迎井 夏樹氏が急逝された。62.5.28、午前6:40 急性心不全のご不幸である。

関西支部事務局を中心に、在阪会員有志により然るべきお手伝いをした。ご冥福を心よりお祈りしたい。

(9) 1989 世界デザイン博覧会関係

宇賀理事より、名古屋で開催される同博覧会の現在の状況報告がなされた。協賛出展等の依頼打診が中部支部に非公式にあり、次回理事会で更に詳細の資料により報告する旨発言された。

以上の報告のうち、(1)、(2)、(4)、(7)は事務局長の報告である。

理事会は上記(1)~(9)をいずれも了承した。

(以上)

中小企業等基盤強化税制の創設について

産業構造調整の円滑化、民間活力の推進等のため、表題の「中小企業等基盤強化税制」が創設されました。通産省検査デザイン課より、同制度の詳しい資料が届いておりますが、税理士・小野木日出勝事務所よりその要訳を得ましたので、以下お知らせいたします。

(事業基盤強化設備を取得した場合等の特別償却又は特別税額の特別控除)

① 制度の趣旨 制度創設の趣旨と概要と内容

中小企業者等の基盤強化のために設備への投資促進をはかり、もって産業構造調整の円滑化、民間活力の推進等に資する。リース設備にも適用されるのが特色。

中小企業者等が事業基盤強化設備を取得又は製作

した場合………特別償却と税額控除選択を認める。

リースにより賃借した場合………税額控除を認める。

② 対象となる者等

青色申告者を提出する個人

S.62. 4. 1~64. 3.31 時限立法

中小企業者等にデザイン業は含まれる。

事業基盤強化設備とは業務用電子計算機、ファクシミリ、卓上型印刷器、複写機器等(詳細は大蔵省告示53号別表1、2に記載)

③ 設備を取得又は製作した場合

適用対象となる設備の確認

1. 昭和62. 4. 1~64. 3.31 までの間に取得又は製作し、かつ同期間に事業用に供すること。
2. 新品であること。
3. 1台の取得価額 機械装置の場合 — 240万円以上 器具、備品の場合 — 100万円以上。

◆ 特例の内容

特別償却

税額控除いずれかを選択適用

特別償却を選択

普通償却の外に取得価額の30%の特別償却を必要経費に算入出来る。なお、特別償却不足額は1年間の繰越が認められる。

税額控除を選択

取得価額の7%を税額控除できる。ただし供用年度の事業所得に係る所得税額の20%が限度。

なお控除しきれなかった残額について、1年間の繰越が認められる。

④ 設備をリースにより賃借した場合

適用対象となる資産かどうか。

1. 指定期間中に物品賃貸業者から賃借して同期間中に事業の用に供すること。
2. 新品であること。
3. 1台のリース費用の総額が機械装置の場合 — 140万円以上であること。

リース契約の要件を満たしていること。

リース期間が5年以上でかつ対象資産の耐用年数以内であること。

リース料が対象設備ごとに定められていること。

毎支払期間のリース料が均等であること。

◆ 特例の内容

税額控除が認められる。

税額控除限度額

リース費用の総額×60%＝基準リース料

基準リース料×7%＝税額控除限度額

ただし供用年度の事業所得に係る所得税額の20%が限度。

なお、控除しきれなかった残額について1年間の繰越が認められる。

また、現在、中小企業施策におけるデザイン業の取り扱い改善として下記の2点がございますので併せて御知らせ致します。

1. 中小企業金融公庫

貸付対象企業として、デザイン業が61年10月に追加されました。

2. 中小企業信用保険公庫

対象業種として、デザイン業が62年度より追加されました。

尚、この件について更に詳しい資料をご希望の向きはコピーを事務局までご請求下さい。

また、内容についての質問等は会員であることを告げて下記にご連絡下さるようお願い致します。（事務局）

小野木日出勝事務所

税理士 小野木 日出勝

（東京税理士会会員）

〒182 東京都調布市入間町1-27

電話 03-309-6600

委員会の動き

●国際委員会

一第10回 J I D国際委員会一

昭和62年3月27日 18:30～23:00

ブラウン（世田谷区東玉川）

出席：長岡 貞夫理事，後藤宜夫委員長，日方 和城
副委員長，大橋 義博，熊木 光吉，塩田 一

夫，矢作 彩子，大塚しのぶ

招待者：宇賀 敏夫理事

研 修

■アジア諸国のインテリアデザイン

●フィリピンレポート 宇賀 敏夫理事

議 題

■アジアインテリアデザイン会議の方向について

1. 日本とヨーロッパは共通デザイン言語を持つがアジアとは共通性に乏しい事に配慮を要す。
2. 住居の基本形態を掘り下げる。
3. インテリア素材の研修家との交流を計る。
4. 対象分野を広げる。
5. 日本の国際性をテーマにしたいが参加国の心情を思うと困難なテーマである。
6. 全国巡回会議を検討したい。
7. 名古屋会議におけるICSIDの構想との関連を検討する必要がある。

■国際委員会・J I D運営について

1. 全会員に何れかの委員会への所属を義務づけてはどうか。
2. 東京以外の地域に於ても委員会開催の機会を持つてほしい。
3. 量産住宅会社に入会を働きかけ会費増収を計ったらどうか。
4. 国際委員会定例会幹事の持ち回りを検討したい。
5. 国際委員会への自由参加を全会員に呼びかけたい。
6. 各委員会開催予定を公告し非委員の招待と共に自由参加を求めているかどうか。

合議決定事項

1. 国際委員会に非委員の自由参加を求める。
2. アジアインテリアデザイン会議のイメージのまとめを急ぐ。
3. 4月定例会を4月17日18:30に開催する。場所はフォルム建築デザイン研究所に内定。

（文責：熊木 光吉）

—第11回 J I D国際委員会—

昭和62年4月24日 19:30～22:00

フォーラム建築デザイン研究所（港区西麻布）

出席：大野美代子理事，後藤 宜夫委員長，日方 和城副委員長，矢吹 宏，佐久間克己，矢作 彩子，熊木 光吉，齊藤 武行，中川 千早

研修

■海外プロジェクト

●スペインミハス市リゾート開発レポート

矢吹 宏委員

議題

■アジアインテリアデザイン会議の方向について

1. 通産省，産デ振に '87デザインツアアの構想の提示を求めアジア会議構想との調整をする必要がある。
2. 参加対象国はASEAN・NICCS諸国，及び中華人民共和国等とする。中南米諸国の参加も検討する。
3. 韓国のデザイナー団体の実態調査を急ぐ必要がある。
4. 対象国別勉強会を継続する。

■国際委員会・J I D運営について

1. 広報委員会と協力して，マスコミを積極的に利用し，J I D知名度をたかめる。
2. 各委員会との接触，合同委員会の開催等により有機的に機能する委員会を目指す。
3. 事務局を充実させ事務局員1名が委員会に出席する制度を検討して欲しい。
4. アジア会議の開催を前提として，翻訳通訳の処理体制確立等，考えたい。
5. 適当な時期にアジアインテリアデザイン会議特別委員会の設置が必要である。

合議決定事項

1. 委員会各会の幹事選任を委員長に委ね，担当幹事は研修講師の依頼も合せて担当する。
2. 各国デザイン諸団体との交流促進のため用J I D紹介用パンフレットを総務委員会と連掲し作成する。担当者を太田委員，中川委員とする。
3. 国際委員会はアジア会議を継続して論議し，I F I関連は必要事項を素の都度対応する。
4. 次回第12回は韓国をテーマとし長沢精一郎氏に講

師にを依頼するとともに矢吹氏にも講義願いたい。

5. I F Iのフォームを参考にアジアインテリアデザイナー協会用同一フォームを作成し関係方面より対象各国に関するアンケートを急ぐ。作成担当者を齊藤委員とする。

6. アジア会議用アンケートの項目を委員各自が検討し次回に提案討議する。

7. 次回第12回は5月22日とし，場所は借用許可を受けた場合，アーク森ビル3F 株式会社サンゲツショールーム『サンゲツ・クレリア』とする。借用交渉は大野理事，齊藤委員の担当とする。

（文責：熊木 光吉）

—第12回 J I D国際委員会—

昭和62年5月22日 18:30～21:30

株式会社サンゲツ ショールーム『サンゲツ・クレリア』

出席：大野美代子理事，後藤 宜夫委員長，日方 和城副委員長，矢吹 宏，矢作 彩子，太田 明子，齊藤 武行，中川 千早，熊木 光吉

研修

■韓国をテーマとし長沢精一郎氏に講師を依頼したが日程が折り合わず今回は見合わせる。

報告

■J I Dパンフレット作成構想及び進行状況

担当：太田，中川両委員

議題

■アジアインテリアデザイン会議の方向について

1. タイ・香港の資料を齊藤委員が収集中。
2. アジア会議，I F Iの活動については毎回議題に取り上げる。
3. J I Dパンフレットが作成され次第，アジア各国の協会に直接働きかける。

■国際委員会について

1. 韓国に詳しい李泰久（LEE TY）氏や，ブラジル大使館のルシアーナ・アスフォーラ女史に，協会入会や国際委員会活動への参加を要請したい。

■J I Dパンフレットについて

1. 表紙のデザインは重要事項と考えるので理事会で決定してはどうか。
2. I F I・近隣諸国との交流・会員の活動・研修・

指導員海外派遣等を記事に願いたい。

■委員会内部研修について

1. 早期にテーマを定め、予定の2～3カ月前に講師を依頼折衝できるよう努力する。

合議決定事項

1. 次回国際委員会は6月26日のアムステルダム国際会議に関連した研修旅行説明会に引き続いて行う。
2. 齊藤、矢作両委員を次回幹事とする。
3. アムステルダム国際会議出席者として、渡辺理事長の他に、川上副理事長、大野担当理事、後藤国際委員長を推薦する。（文責：熊木 光吉）

●交流委員会

—第2回正会員と賛助会員の交流パーティー—

日 時／昭和62年6月19日（金） 18：00～20：00

場 所／サンゲツショールーム“クレリア”

毎回多勢の会員の参加をいただき、この交流会もとり合えずは当初の目的を達したと思って居ります。（今回の参加者 61名）限られた時間で即ビジネスに結びつくほど十分な話し合いは出来ないかもしれませんが、参加された各位が自主的に情報を手に入れて下さればと思います。次回も奮ってご参加下さい。

（交流委員会 見城 美子）

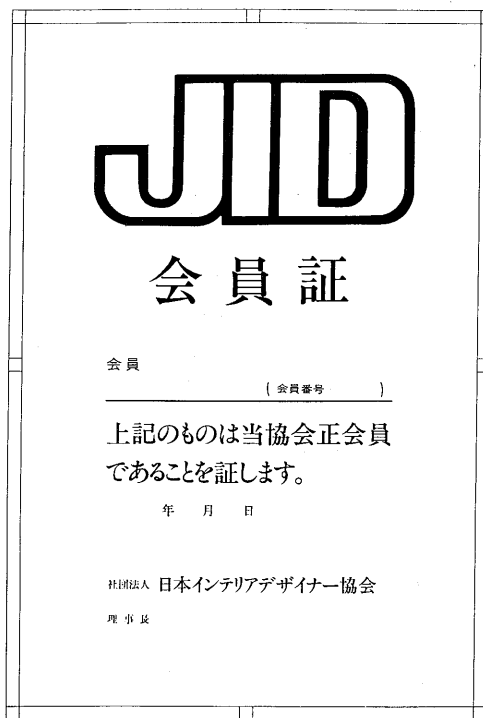
●総務委員会

—大型会員証について—

前総務委員会（59～60年度）からの引き継ぎ事業でもあった、J I D会員（名誉、正、賛助会員対称）用大型会員証を制作することになりました。この大型会員証は掲示用として制作するもので、前期委員会でアンケート調査等の結果会員諸氏から希望の多かったものの事です。

サイズは4 A判タテ位置で、上部中央に協会の指定ロゴ、J I Dが印刷された会員証です。掲示には額等が必要と思われますが、額類は各自でご用意いただく事になります。頒布価格は3,000円程度を予定しています。

近々往復はがきにて頒布希望申込書を発送する予定です。ご希望の方は申し込みをお忘れなきよう予告いたします。



—J I D案内パンフレットの

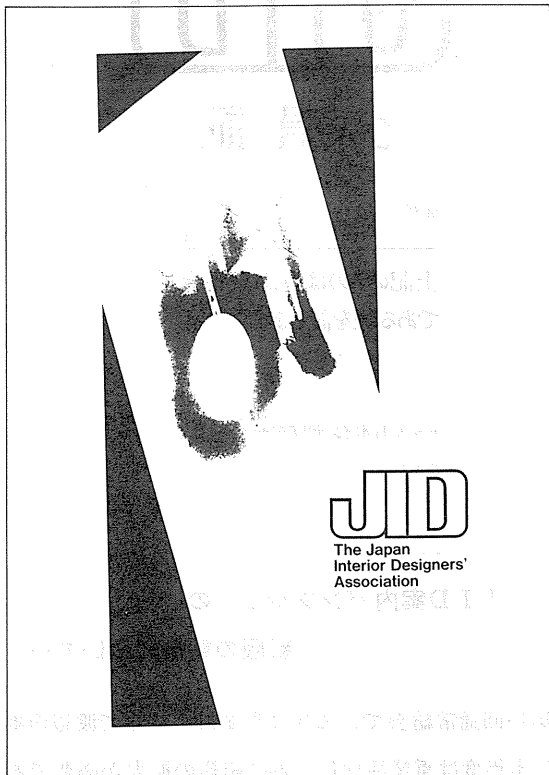
新版の製作について—

第19回通常総会で、62年度事業計画の中で渡辺理事長より本年度は事業活性化の為に組織の拡大が必要であるとの表明がなされました。このような理事長及び理事会の意向を受けて、当協会を関係機関並びに、一般の人々より多く人々に当協会をよりよく知っていただく為に新しいJ I D紹介パンフレットを作成する事になり、現在その作業が進んでいます。

ここに至る経過としては、本年4月9日、支部長・委員長合同会議の席上、後藤国際委員長より、海外向けJ I Dのパンフレットの必要性のアピールや、62年度事業計画の中で会員数の拡大計画等と相まって、J I D紹介パンフレットの新版製作の必要が討議されました。その討議を受けて4月30日、総務委、広報委、国際委、3委員会からなる、パンフレット製作ワーキンググループを発足させ、総務委からは森谷担当理事、秋山委員長、増本副委員長、広報委からは吉良委員長、阪井副委員長、国際委からは、中川委員、太田委員の7名でスタートしました。

まず最初に、使用目的の確認や、体裁、使用期間の設定、進め方等が討議され、内容については現在使用の約18cm正方形のパンフレットを一新したい。現在使用のものは昭和48年度に基本形が出来上り、その後3回の部分訂正を行ったもので、新版は時代を反映した楽しいビジ

ュアルなものにする。また、活力ある活発な活動イメージを表現する、等の大綱と6月～7月上旬迄に完成する事を目標にスタートした。



まずイメージを大きく左右する表紙のデザインについては内部からの起用説等もあったが、広報の吉良委員長の仲立ちで、JAGDA会員の山本洋司氏に依頼しました。山本氏はその作品がニューヨーク近代美術館にも収蔵されるほどの実力者で、出来上がった表紙は、空間の間、仲間の間の間の文字と日本の日の丸をイメージした新鮮なものです。内容は、理事長のあいさつ文に始まり、J I Dの国際活動、国内活動、あゆみ、組織を6頁にまとめたものです。表紙及び内容共、2色刷りとし、英文を併記し海外向けにも使用出来、楽しく読み易いものを心掛けてあります。

実質的活動は5月8日からと短い期間で仕上げるのは大変なことでしたが、何とか完成までこぎつける事が出来そうです。

会員の皆様には各一部づつお届け出来ると思いますが、製作の主な目的は、広くJ I Dを理解していただく事と、身近かにおられるこれから会員に入会見込者に配布していただきたいと思いますので、必要があれば、事務局へご請求下さい。

尚、J I D案内パンフレットとは別に、総務委員会として、書式の見直し、整備の一貫として、入会申込書の

書式も改定しました。B 5判からA 4判に変更し、記載内容も実状にそったもので、申込者の方々が書き易く変更したつもりです。J I D案内パンフレットと合わせて活用していただき、より適切な会員を1人でも多く入会していただくようお願い致します。（秋山 修治）

一新組織図と役割分担

去る5月29日、第19回通常総会が開催され、その中で改訂された組織図と委員会の役割分担が提示されました。

ここでは、当日に出席できなかった方のためにその内容をご報告いたします。

その経過

- 1) 昭和61年6月、第2回理事会において、各委員会におけるこれまでの役割に端を発して、全体的見直しが課題となり、総務委員会が検討していくこととなる。
- 2) 以後、総務委員会において、何回となく委員会を開催し、協会の現状と対外部の把握、各委員会の役割、組織・事業・財政の関係など、単なる受皿づくりにとどまらず、効率化・活性化を改訂目標とし、検討を行う。さらに、協会の事業について、事業委員会とも検討を行う。
- 3) 昭和62年1月、第5回理事会に、組織改訂を中心とした中間答申案を提示。討議ののち、この件は今後の協会に対し、きわめて重要であるとの認識に立ち、臨時理事会の開催を決める。また、新年度より実施に移すという点でも意見の一致をみた。
- 4) 3月6日、臨時理事会を開催。総務・事業両委員会からの説明をベースに、組織と事業の両面から討議を行い、大筋において決定する。
- 5) 4月2日、正・副理事長、総務担当理事、事務局長にて、細部を調整する。
- 6) 4月7日、総務委員会にて、なお細部を調整し、整理する。

以下は組織改訂への中間答申案に盛り込まれた前文と、最後にまとめられた組織図及び各委員会の役割分担です。（改訂への複数案は省略）

案から決定の段階においては、企業や官公庁と異ること、会員としての活動限度、カナノである事務局の実状など幾多の難門があり、決定打というわけにはまいりませんが、一応これでスタートということになりました。

この委員会の性格は単なる資金集めの委員会ではなく根本的な財政面のあり方を検討し、具体的な方策を打ち出す委員会である。

(例えば、中期・長期の財政計画、未収会費の徴収策、事業遂行時の寄附・広告・協賛金の調整、会費の値上げ、補助金の導入、協会内の事業計画に伴う予算配分、収支予算・決算などに有効なかかわりをもつ)

組織改訂に伴う役割分担

1. 総 会 定款第21条に基づく(1)～(5)の項目。
2. 理事会 定款第21条2項(1)～(2)の項目。
(事業の基本方針立案と全体計画を行ない審議、決定をする。)
3. 理事長 定款第16条2項の職務。
4. 副理事長 定款第16条3項の職務。
5. 理 事 定款第16条の職務。
6. 監 事 民法第59条の職務を行う。
(会の適性かつ公正な業務執行の監査・会計の監査。)
7. 事務局 事務局細則4条に基づく9項目の職務。
8. 本部運営
会 議 全体計画に基づき各種事業の推進および調整のための会議。
9. 合同運営
会 議 上記の会議に各事業支部長が加わる会議。
10. 部 会 各委員会の事業計画の実行に関する検討、調整。
11. 委員会 全体計画に基づき各種事業の実施計画、実行および提案。
12. 事業支部 全体計画に基づき各事業支部に適した、各種事業の実施計画、実行。
13. 選 考
委員会 協会賞等の選考。
14. 選挙管理
委 員 会 役員・選挙委員などの選挙管理。
15. 顧 問 必要あるとき理事長の諮問に応ずる。

附 記

1. 部会長は理事がこれに当たる。
2. 本部運営会議は理事長、副理事長、部会長、委員長または副委員長、事務局長、をもって構成する。
3. 合同運営会議は前記構成員に各事業支部長が加わる。

部会・委員会名および業務内容

部会	委員会	業務内容
総務	総務	会員の権益に関する事。会員の福祉に関する事。 議案の起草に関する事。書式に関する事。 会員の業務契約、報酬に関する事。 著作権、工業所有権に関する事。儀典に関する事。
	財務	会務に必要な財源および会計に関する事。(収支予算、決算等)財務計画に関する事。(会費、寄附、広告、協賛金等)
	組織	会員資格に関する事。会員拡大に関する事。 幹旋業務に関する事。会員の作品管理に関する事。 会員(正・準・賛助・名誉会員)のメリットに関する事。
交流	交流	官公庁・他団体との連絡、提携、共同に関する事。 会員(正・準・賛助・名誉会員)相互の親睦、交流に関する事。
国際	国際	国際交流、国際情報に関する事。IFIに関する事。
広報	広報	国内広報に関する事。 機関誌の編集およびJIDニュースの発行への協力。 各委員会活動の情報収集。 協会活動の記録の整理。
	出版	会員名簿の発行への協力。 年鑑等不定期刊行物に関する事。 ポートフォリオ等事業的出版物に関する事。
教育	研究	研究および研究発表に関する事。 JIDギャラリーの常設化に関する事。 受託研究に関する事。
	教育	インテリアデザインの教育等の調査研究に関する事。

部会	委員会	業務内容
		講習会等の実施に関すること。
特別事業		共同事業・記念事業・経常性の無い事業等の特別事業は必要に応じてそのつど委員会を設置する。
事業支部		各事業支部における会員の交流・親睦に関すること。
		各事業支部における見学会・研修会・展覧会等に関すること。

なお、(案)づくりに参画した会員は次の通りです。

(総務委員会)

委員長/秋山 修治, 副委員長/増本 敏治, 委員/古賀 文三, 高木 敦子, 田中 聡行, 村口 映子, 担当理事/森谷 延周。

(事業委員会)

委員長/小坂希八郎, 副委員長/中村 隆一, 委員/海老沢 宏, 藤川 征輝, 嶺 茂信, 担当理事/山内 陸平
(総務担当理事/森谷 延周)

事業支部の動き

●関東事業支部

— J I Dサロン(仮称)を開設—

かねてより事業支部委員会で検討中のサロンが、正会員佐々木浩氏(関東)の肝入りで実現しました。東京新都心の超高層ビルでもあり、事業支部の他、本部委員会の各種集まりや、催しにも積極的に利用されることになりそうです。以下、その概略を記します。一度お立ち寄り下さい。

(社)日本インテリアデザイナー協会

関東事業支部サロン

代表者 佐々木 浩(JID個人正会員/6517)

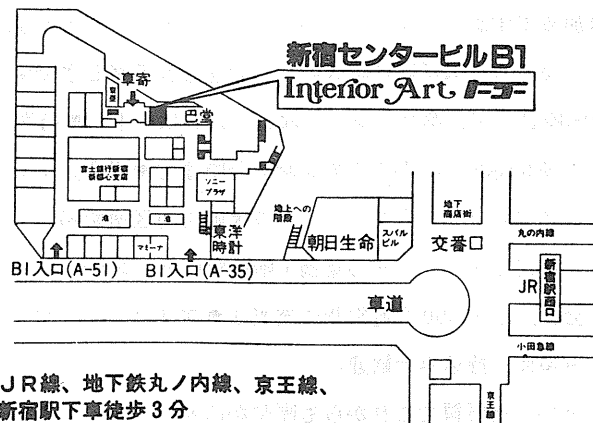
担当 Chief:阿曾 優子, 西村 佳子

営業開始日 昭和62年7月1日

電話 (代表)03-344-1050

(FAX)03-344-1072

住所 〒163 東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービルB1F



JR線、地下鉄丸ノ内線、京王線、
新宿駅下車徒歩3分

雨の日でも濡れずに行ける西口より一番近い超高層ビルのB1Fです。車でお越しの方は、地下駐車場ゲイト脇の車寄せのすぐ横の場所です。

●関西事業支部

— J I D関西事業支部会員サロン

(仮称)オープナー

関西事業支部では、かねてから会員の親睦の場として、気楽に集い、語りあえり適当な場所がほしいと、多くの会員の方々の声を聞いてまいりましたが、この度インテリアギャラリー《リバーシュ》河中社長のご理解とご好意により、同サロンに於てJ I D関西事業支部会員サロン(仮称一通称J I Dサロン)を開設するはこびとなりました。

5月8日夜のオープニングパーティをはじめとして、5月22日、6月12日、6月26日と好評の内に回を重ねております。



サロンで親睦会を深める

オープニングパーティには大阪デザインセンターの仲田専務理事もお祝いにかけつけていただき、外国人の飛入りなどもあって、参加者は20名を越え、ギャラリーからはみ出すほどの盛況でした。その後は毎回10人ほどの

参加数ですが、アルコールがまわるにつれ、デザイン論、人生論とつきぬ話題に時間のたつのを忘れる楽しさです。

●開催日／毎月第2・第4金曜日（祭日は中止）●時間／午後6時30分頃から午後9時30分頃まで●場所／インテリアギャラリー《リバーシュ》大阪市南区南船場3丁目5番27号・アルファ心斎橋1階・電話06-245-9781
●会費／¥1,000（運営費に充当）●アルコール・おつまみ類他、持込み大歓迎。

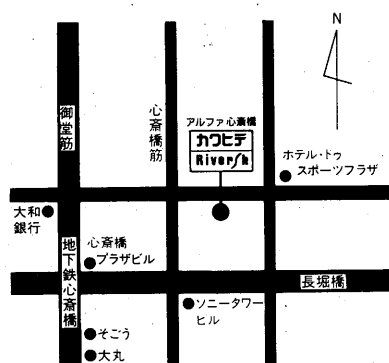
といった要領でこれからも賑やかに続けてまいりますよ。他の支部会員の参加を期待しています。関西へお出かけの折は、ぜひスケジュールをJ I Dサロンに合せてご計画下さい。（栢原 秀榮・山崎 晶）

●場 所／インテリアギャラリー《リバーシュ》

大阪市南区南船場3丁目5番27号

アルファ心斎橋1階

TEL／06-245-9781



—関西事業支部総会報告—

過日5月14日に標記の総会を開催しましたところ、多数のご出席と委任状を頂き、全議案が承認されましたので、ご報告申し上げます。

（社）J I D関西事業支部

支部委員長 栢原 秀榮

記

- 議案
1. 昭和61年度事業報告書承認の件
 2. 昭和61年度収支予算書承認の件
 3. 昭和62年度事業計画（案）決定の件
 4. 昭和62年度収支予算（案）決定の件
 5. その他

出席者（敬称略、順不同）

浅田 弘之、石村 徹之、大竹 正道、大槻 圭子、
栢原 秀榮、金子誠之助、要 信一、川崎 浩、
小林敬一郎、鈴木 儀雄、袴田 稔一、樋口 治、

福田 武、南原 七郎、迎井 夏樹、山口 道夫、
山田 道夫、山田健一郎、渡辺 敏雄 以上18名

委任状 38名

なお、昭和61・62年度事業計画および収支予算（案）は次の通りです。

昭和61年度 J I D 関西事業支部事業報告

1. 会 議

- | | |
|----------------|---|
| (1) 支部運営会 | 3回（9/19, 12/9, 2/28） |
| ※支部運営委員会 | 1回（4/4） |
| (2) 支部委員総会 | 1回（4/4） |
| (3) 部会長会議 | 3回（5/29, 8/13, 1/8） |
| (4) 事業委員会 | 1回（4/28） |
| (5) 事業部会 | 3回（7/5, 7/11, 8/4） |
| (6) 広報部会 | 6回（6/27, 10/3, 10/8, 10/15, 10/17, 10/27） |
| (7) 総務部会 | 5回（6/28, 9/4, 12/3, 1/21, 2/18） |
| (8) 総 会 | 1回（5/9） |
| (9) 総会準備委員会 | 1回（4/16） |
| ※本部役員と支部部会長打合せ | （4/14） |

2. 事 業

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 資格制度説明会（10/3） | 参加者 6名 |
| (2) 見学会 ニューオータニ（8/13） | 参加者 27名 |
| (3) 研修セミナー（講師派遣） | |
| ・西日本インテリアスクール特別セミナー（2/25） | |
| 小林敬一郎氏 | 受講者 51名 |
| ・第6回木工業活性化セミナー（3/5） | |
| 池上 俊郎氏 | 受講者 20名 |

昭和61年度 J I D 関西事業支部収支決算

(S 61. 4. 1 ~ 62. 3. 31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	126,725 円	事業費	43,271 円
事業収入	344,635	ニューオータニ見学会	21,232
・本部から	200,000	資格制度説明会	22,039
・各事業から	144,635	部 会 費	275,022
ニューオータニ見学会参加料	27,000	支部運営会・部会長会議費	116,647
資格制度説明会参加料	6,000	事業部会	26,315
会費収入(特別会費)	74,500	広報部会・編集委員会	50,364
雑収入(名簿頒布等)	36,600	総会費用	81,696
雑収入(受取利息)	535	事務費	123,058
		印刷費 ゼロックス	2,480
		通信費 切手代	8,420
		" 電話代	20,263
		雑費 慶弔費・USD会費	91,895
		次年度繰越金	30,009
合 計	471,360	合 計	471,360

昭和62年度 J I D 関西事業支部事業計画

基本的方針

- 日本インテリアデザイナー協会関西事業支部の特性
(地域、文化、歴史、人的構成等)を生かした事業を行う。
- 展覧会、研修会、見学会が相互関連し協力出来る計画
を出来るだけ行う。
- 他部会との情報交換を綿密にし、支部としての総合的
活動になり得る事業計画を推進したい。
- 本部事業計画に対する協力。

具 体 案 例

(展示会)・上方のスペース展。

- ・日本のスペース展。
- ・私の提案 展。
- ・見学会、関連展。

(研修会)・一般対象セミナーの継続。

第3回江南織物組合 5/30予定

第4回東京デザイナー学院名古屋校

5/6月予定

- ・日本民家のディテールを集め、展覧会・見学会と連動した活動。

(見学会)・J I D 関西として申し込み、可能になる所

桂 離 宮

新しくオープンするホテル・庁舎等

宝塚芸術大学

- ・関西の地域文化を見学する。

和歌山吉野地方

紙すき、杉材、くりもの、民家

(吉野葛、茶がゆ、山の魚)

四国阿波地方

藍、大谷焼、紙すき、人形芝居

(三郎のアユ、祖谷そば、たらいうどん、鳴門鯛)

信楽の焼物と大塚オーミ陶器

(— — — —)

灘の造り酒屋、白鶴美術館等

(— — — —)

美濃紙と瀬戸の焼物/中部支部合同

(— — — —)

- ・個人としてなかなか行けない場所を/解説付で。

川島織物文化館、鐘訪美術館等。

昭和62年度 J I D 関西事業支部 収支予算

収 入 の 部			支 出 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	30,009 円		事 業 費	500,000 円	
事 業 収 入	900,000		部 会 費	250,000	
本 部 か ら	500,000		事 務 費	150,000	
各 事 業 か ら	400,000	展 覧 会 会 費 研 究 会 会 費 見 学 会 会 費 懇 親 会 会 費 各 参 加 費	予 備 費	30,009	
合 計	930,009 円		合 計	930,009 円	

●九州事業支部

① 62年度九州事業支部総会について

支部総会開催の時期が遅れ会員の皆様に何かとご迷惑をお掛けいたしております。先日委員会を開き、6月に総会を開催したく検討しました。その中で目新しい企画をして、会員が全員参加したくなるような内容にすべきとの意見から時期は少し遅くなっても再検討しようとの事になりました。

店舗設計関係の企業デザイナーの方々との総会後援会を開きたく計画中です。支部総会開催の折には是非共多数の会員のご参加をお願い致します。

② 支部会員の動き

正会員へ、石中 法文会員、尾形 栄会員、共に J I D ニュース等でご存じの様に正会員となられました。今後共支部活動への御協力方宜しくお願い致します。

尚、現在準会員の皆様には正会員への切り替えをご検討下さいます様お願い致します。

新入会員紹介 松本 豊氏

まつもと意匠室

TEL 0942-52-7192

〒833 福岡県筑後市大字常用 819-7

松本様には、フリーデザイナーとして幅広くご活躍されており、以前より会員にとのお誘いをしておりましたが、今回、篠島、鐘ヶ江会員の推せんで入会されることになりました。支部活動の推進力となって頂けるものと期待いたしております。今後共宜しくお願い致します。

③ インテリアプランナー62年度試験案内

九州事業支部にも、インテリアプランナー案内が配布されて来ました。各会員に5部宛送付いたします。

尚、63年度より3ヶ年間の実務経験者への特別措置としての講習会及びインテリアプランナー資格試験日程は下記の予定になっております。

A, 九州地区インテリアプランナー資格試験62年実施予定表

試 験 会 場 西日本短期大学

(福岡市中央区福浜1丁目)

試験実施公布 62年6月10日

受験申込書配布 62年7月20日(月)～8月14日(金)

受験申込受付 62年8月3日(月)～8月14日(金)

学 科 試 験 62年11月15日(日)

学科合格発表 63年1月8日(金)

設計製図課題公告 62年11月上旬

設計製図試験 63年1月24日(日)

設計製図合格発表 63年3月25日

B, 九州地区インテリアプランナー講習会63年実施予定表

講 習 会 場 電気ビル本館地下 第8会議室

(福岡市渡辺通り2丁目)

受講申込み案内配布 62年11月4日(水)～11月30日(水)

受講申込受付 62年11月16日(月)～11月30日(水)

第1回講習会 63年4月4日(月)～4月6日(水)

第2回 " 63年4月14日(木)～4月16日(土)

第3回 " 63年5月9日(月)～5月11日(水)

④ 九州事業支部への御意見を、

研修会、見学会等へのご意見また支部事業へのご提

案を。 1962年5月27日（日）午後5時30分

ヨーロッパ・リビング・ エレガンス展報告

広報委員会で担当の、同展への協賛出展は成功裡に幕を閉じた。機関誌「インテリアデザイン」の頒布をはじめ、協会での各種出版物・印刷物を展示してPRにつとめた。会期（62. 5.27～30）を通じ、特に頒布が好調であったのは、第4集「インテリアマップ東京エリア」で、関係者の喜びもひとしおであった。



因みに、同展の主催者（株）イー・エム・エスの報告によれば、会期中の来場者数は業界関係9,894人、一般約5,000人で、盛況であり、会場にはJ I D会員も多数の来場があった。吉良ヒロノブ広報委員長をはじめ、交代で出展小間へ詰めていただいた委員各位に感謝したいと思います。（事務局）

樋口 治さんに藍綬褒章

日本室内設計家協会（J I Dの前身）からの在任を含め、通算して役員歴29年になる樋口治さん。昭和62年春の褒章で、名誉ある藍綬褒章の栄に浴されました。

五月晴れの、5月27日の伝達式、翌28日の皇居「豊明殿」での拝謁式に出席された同氏は、ひき続き5月29日、J I Dの祝賀パーティに英子夫人とともに列席して、デザイン界の先達のお一人として、出席会員の祝福を受けられ、幸せなひとときを過ごされた。

実績としては、①デザインを通じて通商および産業の発展につくした。②地方産業デザインの振興につくした。③デザイナー団体の結成ならびにデザイナーの教育啓蒙



J I Dの祝賀パーティで 樋口ご夫妻

につくした。④著作・研究・作品にすぐれたものがあった。等々が対象となり、今回の受章になりました。4月27日の報道発表の前後、各方面からのインタビューや取材、お祝いの訪問を受けるなど、大層忙しい思いをされました。

ますますお元氣な樋口さん、これからもよいお仕事を通じ、社会へのご貢献と斯界へのご指導を続けられますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

（事務局）



訃報

“秋田くん”

川崎 浩

色白のポッチャリ顔でなく、どちらかといえば色黒の童顔、支部の会合・催しに必ず出席（多分皆勤）、聞き上手の・話し上手。

昭和4年千葉県我孫市の生まれ、29年に千葉大工業意匠学科を卒業、松下電器産業入社、中央研究所意匠部へ（眞野善一さんが部長の時代、工業デザインのメッカと云われた）現業部門の意匠課（まだデザイン部とか、課とかいわれなかった時代）をへて（この間に2年間、万博協会へ出向）、53年よりニューヨークに駐在、帰国して56年より国際デザイン交流協会に出向、59年に退社、大垣女子短大のインテリアの教授に迎えられ、大垣と大阪と二分した日々であった。J I D Aの古い会員で、当会へは52年の春、推薦人の弁に「家電メーカーでの永年の工業デザインの経歴はインテリアに新しい方向を開いてくれると思われる」とあり、大企業内でのデザイン組織の創生と発展を見とどけ

られ、あらためてインテリアに新しい活路を求めておられたように思われる。

米国駐在中、帰国するたびに、「これは一番新しいノルのカatalogです」「デザイナーズ・サタデーというのがあって、月に1回NY中のデザイナーが集まってわいわいやりやります。大阪でもどうですか」「マイアミに建設中のディズニーワールドのスライドです」等、一杯やりながら話しこまれたものである。

長男はサービス業にお勤め、次男はIDの道に進まれて、お父さんの遺志を継がれた。

高度成長期を企業と共に駆けぬけた秋田嘉正君、ちょっと若すぎた。享年57歳、2月26日没。



訃報

迎井 夏樹さん逝く

石村 昌男

J I D関西事業支部会員、迎井夏樹さんが去る5月28日、急性心不全のため急逝された。享年54歳。長い間株式会社大丸装工事業部の設計の中心として活動され、又J I D関西事業支部の広報部会編集委員長として張り切っておられただけに、その急逝はなんとも残念で、惜別の言葉がない。

告別式は翌5月29日ご自宅で行われ、J I Dからは川崎理事、栢原支部委員長をはじめ、村尾 栄会員、上野 忠之会員、佐々木恵子会員など20名近くの会員が列席、弔意を表した。生前の故人を偲びつつ、心からご冥福をお祈りいたします。合掌。

「迎井 夏樹氏・追悼」弔辞

迎井 夏樹君。私達は今、限りない悲しみの淵に沈んでおります。しかし私は、こみあげる涙に耐え、大丸装工事業部を代表して謹んで君の御霊前にお別れの言葉を申し上げます。

君は昭和7年7月7日迎井家の長男として生を受け、すこやかに成長され、昭和31年4月、京都工芸繊維大学御卒業と同時に、当社に入社されました。当時私は心斎橋店の家具売場に勤務しており、そこへ若くハツラツとした新入社員の中に君の姿がありました。小柄な体に大きなスタレの束をかついだ君の後姿がまるで昨日のことのように思われます。

その若い君に、まさか私が弔辞を読むとは……

君はインテリアデザイナーとして、柔軟な思考による革新的なアイデアと、その天性からしる豊かな感性は、全国にわたり数多くのすぐれた作品を残され、大丸に迎井ありと言われ、多くの大丸ファン、迎井ファンをつくってまいりました。

それだけに、会社は君を必要とし、君も会社のため精励していたのに、思わざる病魔のため突然働き盛りの54歳を最後に他界されました。

あまりにも突然の死に、私達は呆然として胸のつぶれる思い、人生の無常を嘆かずにはおられません。

当部の新しい発展をリードする君への私達の思いは、あまりにも深く、あまりにも強く、君の愛され慕われたあのハツラツとした朗らかな声、若さあふれる笑顔、すべて永遠の彼方に消え去り、ただ私達の胸の中だけにのみ残ることになりました。

悲しみは限りなく涙はつきません。いわんや、後に残された奥様、御母様はじめ御遺族のお悲しみを思えば、万感胸にせまるものがございます。

迎井君、嵐に花の散るようなとは、まさに君のことです。無念です。残念です。

死の床にあってなお、明日の仕事を、デザインをと、洩らされた君も、さぞ残念だったことでしょう。しかし、君その無念の想いを私達全員にお預け下さい。君の功績と共に、その大いなる遺志を私達は深く胸におさめ、君の遺業を引き継ぎ、せめてもの手向けといたしたいと願っております。

死生命あり。まことに悲嘆のきわみではありますが、今はただ、君の安らかな眠りを祈るばかりです。

ここに、ありし日の君を偲び、惜別の言葉といたします。

さようなら。迎井 夏樹君。

昭和62年5月29日

J I D賛助会員 株式会社大丸 装工事業部長

石村 昌男

会員の消息

◇ 矢 留 富 三

拝啓 さわやかな初夏の季節となりました。皆様にはますますご健勝の御事と存じます。

さて、この度は名誉会員に推挙されました上に感謝状と記念品をいただき、この上なき栄誉と存じ感激しております。当協会に対して何らお役に立つ程のこともしていないのに感謝状をいただき誠に恐縮致しております。今後はデザイン事務所は解散しましたが木製家具・椅子等のデザイン工房として機能と美の一体化をめざしてインテリアデザインの研究に励み、いささかでも業界のためにお役に立ちたいと存じておりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。いろいろとご配慮いただきまことにありがとうございました。 敬 具

昭和62年6月5日

矢留 富三（新名誉会員）

◇ 宇佐美 琢 朗

記念品並に感謝状拝受致しました。（新名誉会員）

◇ 野 口 茂

風薫る季節となりました。昨年3月末、京都工芸繊維大学を停年、退官し、同大学の名誉教授（教授歴20年）の称号を授与されました。その後、昭和62年度開設予定の宝塚造形芸術大学の設立準備委員を委嘱され、また同学校法人の理事として開設に微力ながら努力してまいりました。同大学は、昨年末、文部省の認可を得て、本年4月1日、開学、同4月15日、漸く入学式を挙行、同17日より開講いたしています。同大学は、宝塚市の花屋敷雲雀ヶ丘の丘陵地にあり、美術学科と産業デザイン学科で造形学部を構成し、学生定員は美術学科25名、産業デザイン学科75名、美術学科には洋画、彫塑、日本画、その外に修復美術があります。産業デザイン学科には、ビジュアル、プロダクト、アパレル、インテリアの4コースがあり、小生は産業デザイン学科の主任教授と造形学部長と兼任しています。何分新設大学で学舎は第一期工事が完了しましたが、続いて第二期工事に入る予定で、建築計画はフランス・コルビジエー財団のアンドレ・ボージュンスキー氏、詳細設計は、東京の長谷川環境設計事務所の長谷川紘氏です。環境は極めて良好で晴天の日には、川西、池田、豊中、伊丹、遠く淡路島が望めます。建築は、丘陵地を活かした明快でユニークなもので、第一期工事完了で未だ全容は窺えませんが、下阪の際には是非お立ち寄り下さい。（関西）

●宝塚造形芸術大学・造形学部

〒669-12 宝塚市切畑長尾山2-1658

電話 (0727)56-1231(代)

◇ 加 集 喜 雄

転居のお知らせ

爽やかな季節になりました。

皆様御健勝にて何よりと存じます。

私もおかげ様で且つての病後から昨今は健康をとり戻して元気に働かせて頂いて居ります。扱て此度住居を北品川から元目黒へ戻る可く移転致しましたので御案内申し上げます。目黒駅からバスで元競馬場前停から歩いて4、5分の所です。

御近所へ御越しの際は御立寄り下さいませ。

（名誉会員）

●新住所 東京都目黒区目黒4丁目14-42

電話 03-716-1615

◇ 千 田 要 宗

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

クリエイティブ飛行船は、クリエイティブハウスとして、おかげさまで15年目を迎え、さらに魅力あるものづくりとスペースづくりをめざして、此の度、千里にアトリエを移す事になりました。私達はデザインを通してトータルに「魅力ある生活づくり」にかかわるため、先端の情報をつかみ、実験できるスペースとしてショールームを併設いたしました。

ものづくりにかかわる多方面の人達が、エキサイトできる場にしたいと思っています。お近くにお越しの節はどうぞお立寄り下さい。（関西）

新社屋 吹田市津雲台2丁目11-2 〒565

TEL 06-833-0004

FAX 06-833-6070

経理部 川西市湯山台2丁目35-4 〒666-01

TEL 0727-93-2120

◇ 渡 辺 敏 雄

4月より関西女子美術短期大学インテリアデザイン科主任教授として後進の指導に当ることとなりました。随って山下設計は本社所属の非常勤参与として御手伝いを致すこととなりますので従来同様宜敷く御願い申し上げます。

す。

もとより微力ではございますが、今後は永年蓄積致しました知識と経験を生かして若い人達の教育に当り、残された人生を有意義に燃焼させ度いと念願しておりますので何卒今迄に変わらせぬ御指導と御力添えを賜ります様御願い申し上げます。(関西)

〒573 牧方市村野本町7-7

◇ 佐久間 克 巳

益々御活躍のことと御慶び申し上げます。

御報告が遅れまして誠に申し訳ございませんが、このたび下記の場所に移転至しましたので、宜しく御願い申し上げます。

〒153 東京都目黒区大橋1-7-4 久保ビル1F
TEL 03(780)4077
グリーン・ピース株式会社

◇ 尾 上 孝 一

郵便番号が変更になりましたので、お知らせいたします。

新しい郵便番号 〒178 練馬区大泉1-19-11

◇ 加 藤 昌 一

高齢ともなりますと、どうしても体調を害うので、ドクターストップもあり、多方面に不義理をかけ、申し訳ありません。何卒、ご諒承下さいます様お願い申し上げます。(名誉会員)

◇ 飯 田 一 博

下記に住所が変わりましたので、よろしく御願い致します。(九州)

〒813 福岡市東区香椎浜2-5-2-210
電話 092-662-7027

◇ 佐々木 浩

平素は格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。さて此の度、新宿センタービルにトータルインテリアのギャラリー『インテリアアート・トーコー』を開設することとなり、それとともに設計室も同場所に移転することと相成りましたのでお知らせ申し上げます。(関東)

新住所 東京都新宿区西新宿1-25-1

〒163 新宿センタービルB1

電話 03(344)1050

FAX 03(344)1072

業務開始 昭和62年6月21日

Interior Art トーコー

◇ 岩 倉 榮 利

このたび下記へ転居致しましたのでお知らせ申し上げます。

こちらの方面にお出向きの節はぜひお立寄り下さるようお待ち申し上げます。

末筆ながら皆様の御健康をお祈り申し上げます。

(関東)

郵便番号=152

東京都目黒区中根1-11-15

電話 03-725-7369

◇ 清 水 忠 男

いつもお世話になっております。お知らせするのが遅れましたが、主人は6月末には米国をひき払い、日本へ帰って参る予定です。今後ともよろしくお願いいたします。(清水 純子)

◇ 嶋 佐知子

近況についてお知らせいたします。此度『洋家具とインテリアの様式』を出版することになりました。ギリシャから現代までインテリアと建築、美術と平行させながらまとめました。4年ごしのもので、シカゴ美術館のソーン夫人コレクションの系色写真40枚やイラスト300点を含みます。御批評いただければ幸いです。

一昨年からの光が丘ショッピングセンター「IMA」の劇場、NHK文化ホール、喫茶店ばるく、カスタムなどの仕事が終り、ほっとしています。建設省フォーラム委員のほかに、昨年より住宅・都市整備公団の、レディス住宅フォーラムの委員になりましたが、それ以前より公団の浦安に建設する、マリナイースト内の「魅せる住宅」数戸の設計、谷津パークタウンの独身者用及び三世帯住宅など3年ごしの仕事もあります。いずれも基本構想からインテリアまでなので楽しみです。山岸征史、飯田公久両氏の御世話になっています。

私は15手前に帰京してすぐに手弁当で各区役所をまわ

って“住い方は生き方”からは入ってインテリアの講習をさせてもらいました。でも常に感じるのは、現在の日本には“住い方の思想”殊に人間と四つ足動物との差を示すものである、食事作法と会話作法空間の確立が欠けていることです。モノを造る以前にそれらについてきちんと把握していないと、日本の住いは変な方向に流れていくのではないかと不安がつのるばかりです。

(関東)

◇ 奥野 由道

さわやかな初夏の季節となりました。平素は何かとご指導賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、去る5月29日の総会につきましては、今年は是非出席させて頂くつもりで色々とお手数かけながら、27日頃から発熱を伴い急に体調をくずし、残念ながら上京を断念致しました。出席の申し出をし乍ら、何卒お許し下さい。

今後とも何卒よろしくご指導の程、お願い申し上げます。

(関西)

◇ 兎本 進

このたび、24年間お世話になりました永大産業株式会社を円満退社致すこととなりました。

長きにわたり公私共一方ならぬご厚情を賜わり厚く御礼申し上げます。特に宣伝課当時はまことにご無理ばかり申し上げ、ご協力、又ご指導を賜わり深く感謝致して

おります。私といたしましては今こゝで自分をもう一度見つめ直し、しばらくの充電期間を持ちたいと考えております。そして永大で得た経験を生かし今一度頑張る所存でございますので今後ともよろしくご指導ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

(関西)

〒589 大阪府南河内郡狹山町大野台1丁目10番9号

電話 0723-66-1703

◇ 株式会社 青島商店

新事務所移転のお知らせ

会員の皆様にはますます御清栄のことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃のお引き立てを厚く、お礼申し上げます。

つきましては、社屋建て替えのため仮事務所にて営業を致し皆様にはご迷惑をおかけ致しておりましたが、このたび新事務所で業務を開始いたしました。これを機に一層のご愛顧とご支援をお願い申し上げます。移転先

は日本赤十字社協ですので、最寄りの際には是非お立ち寄りください。

なお、電話番号、ファクシミリ番号は従来通りでござ

います。

末筆ではございますが、ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

(賛助会員)

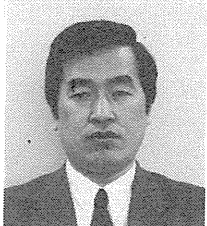
株式会社 青島商店

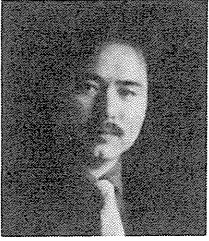
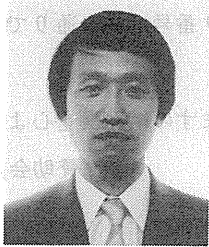
新住所 〒105 東京都港区芝大門1丁目1番11号

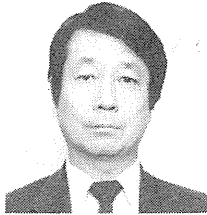
新入会員の紹介

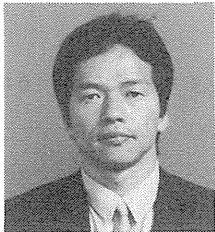
●新入会員

(正会員)

会員名及番号		住 所 及 電 話
いとうもとやす 伊藤基恭 (会員番号632) 	<勤務先・事務所> <自宅> <推薦者>	西川産業(株) 東京都中央区日本橋富沢町8-8 〒103 03-664-8161 (内 3450) 千葉県市川市平田4-15-21 〒272 0473-76-0823 福田友美・森谷延周

まつもと ゆたか 松 本 豊 (会員番号 633) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	まつもと意匠室 福岡県筑後市大字常用 819-7 〒833 0942-52-7192 同 上 箴 島 良 介 ・ 鐘ヶ江 茂則
かわ いけ あき こ 川 池 昭 子 (会員番号 634) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ケイ・アート・インテリア 東京都世田谷区上野毛 1-33-6-303 〒158 03-701-1721 同 上 泉 修 二 ・ 飯 田 公 久
の はら たけ ひろ 野 原 建 広 (会員番号 635) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	日本楽器製造 (株) 家具特販部 東京都渋谷区代々木 2-4-9 三信北星ビル 7 F 〒151 03-320-3431 千葉県船橋市市場 3 丁目 16-1~522 〒273 0474-23-3814 阪 井 良 種 ・ 栗 原 哲 男
わか い なが こ 若 井 修 子 (会員番号 636) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	一級建築士事務所 若井建築設計事務所 東京都中野区東中野 2-1-2~902 〒164 03-365-0664 同 上 田 辺 麗 子 ・ 田 中 聰 行
あい ざわ はる お 相 澤 晴 夫 (会員番号 637) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ホームイング (株) 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 〒163 03-348-6098 埼玉県入間郡日高町武蔵台 5-12-3 〒350-12 04298-2-0743 加 藤 雅 士 ・ 山 品 元 

あさのせいじ 浅野盛治 (会員番号638) 	<勤務先・事務所> <自宅> <推薦者>	松田平田坂本設計事務所 東京都港区元赤坂1-5-17 〒107 03-403-6161 東京都町田市南つくしの4-17-7 つくしのローズプラザ301 〒194 0427-95-4390 川上信二・山本棟子
うるめひさえ 潤米久江 (会員番号639) 	<勤務先・事務所> <自宅> <推薦者>	テキスタイルアートスタジオ 東京都世田谷区玉川1-12-13 〒158 03-709-0621 東京都板橋区坂下2-1 2-813 〒174 03-965-5473 山岸 証 史・吉良 ヒロフブ
ふくおうひろじ 福王博二 (会員番号640) 	<勤務先・事務所> <自宅> <推薦者>	(株)高島屋 東京都中央区日本橋2-4-1 〒103 03-211-4111 (内 2119) 東京都世田谷区深沢4-25-20 〒158 03-701-3075 榎田 均・山品 元
のざわひろこ 野沢弘子 (会員番号641) 	<勤務先・事務所> <自宅> <推薦者>	千葉県作草部町430-53 〒260 0472-55-4330 嶋 佐知子・飯田 公久
いとうこういち 伊藤公一 (会員番号642) 	<勤務先・事務所> <自宅> <推薦者>	(有)アイマックス 東京都港区浜松町1-5-10 浜松シティハイツ904 〒105 03-436-4182 東京都世田谷区経堂4-33-18 大晴コーポ501 〒156 03-428-9745 森谷 延 周・福田 友 美

LEE TY 李 泰 久 (会 員 番 号 643) 	<勤務先・事務所> システムオーデザインアソシエイツ 東京都港区南麻布 5-2-3 ドミール南麻布 〒106 03-442-5211 <自 宅> 東京都港区東麻布 2-17-3 CASA BIEN 501 〒106 03-589-0434 <推 薦 者> 矢 吹 宏 ・ 日 方 和 城
---	---

(賛助会員)

会 員 名		住 所 , 電 話 及 ご 担 当 者
和信化学工業 (株)	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都中央区日本橋室町 2 丁目 4-2 共同ビル(新室町) 3 階 〒103 03-243-1881 取締役広告宣伝室長 和 田 康 彦 山 品 元
(株) ダニエル	住 所 担 当 者 紹 介 者	神奈川県横浜市西区岡野 2-17-18 〒220 045-311-4001 久 保 雅 俊 川 上 信 二

● 会員の異動

(名誉会員 , 正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
野 口 茂 (関 西 P169)	勤 務 先	宝塚造形芸術大学造形学部 (長) 〒669-12 宝塚市切畑長尾山 2-1658 電話 0727-56-1231 (代)
加 藤 邦 夫 (関 東 P61)	会 社 町 名 番 号	中央区日本橋本町 2-7-1 イトーピア日本橋本町ビル 6 F 中央設備エンジニアリング (株)
渡 辺 敏 雄 (関 西 P182)	勤 務 先	関西女子美術短期大学 インテリア科 主任教授 (株) 山下設計 非常勤参与
河 端 二 郎 (関 東 P64)	勤 務 先	退 職
判 治 泰 蔵 (関 東 P104)	勤 務 先	野村不動産 (株) 新宿区西新宿 1-26-2 電話 03-348-0781

齊 藤 英 夫 (関 東 P75)	郵 便 番 号	〒178
長 大 作 (関 東 P94)	事 務 所 電 話	03-304-8353
加 集 喜 雄 (名 誉 P29)	自 宅	〒153 目黒区目黒4-14-42 電話 03-716-1615
飯 田 公 久 (関 東 P41)	事 務 所 名 電 話 番 号	アトラス・デザイン・スタジオ 電話 03-261-9514 FAX 03-261-3360 千代田区神田神保町2-12 川島ビル2号室
新 庄 晃 (名 誉 P32)	電 話 番 号	0559-74-2251
金 子 誠之助 (関 西 P157)	勤 務 先	武庫川女子大学教授 家政学部被服科デザイン研究室 〒663 兵庫県西宮市池開町6-46 電話 0798-47-1212 (内 219)
岩 倉 榮 利 (関 東 P47)	自 宅	〒152 目黒区中根1-11-15 電話 03-725-7369
小 宮 容 一 (関 西 P160)	自 宅 電 話	078-413-0481
佐々木 浩 (関 東 P77)	ギャラリー 設 計 室 開 設	「インテリア・アート・トーコー」 新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルB1 電話 03-344-1050 ・ 03-344-1072
杉 本 真二郎 (関 東 P83) 中 島 研 二 (関 東 P96)	事 務 所 電 話 ・ F A X	TEL 03-402-7026 FAX 03-401-1126
下 島 資 子 (関 東 P81)	事 務 所	ライフデザイン研究室 中央区勝どき5-11-8 ホームデザインセンター内 電話 03-552-5088

千 田 要 宗 (関西 P164)	事 務 所 移 転	〒565 吹田市津雲台2-11-2 TEL 06-866-0004 FAX 06-833-6070
尾 上 孝 一 (関東 P58)	郵 便 番 号	〒178
行 方 ひふみ (関東 P100)	事 務 所	空 間 構 成 〒150 渋谷区東1-1-38-203 TEL・FAX 03-407-5960
橋 悟 (関東 P89)	事 務 所 ・ 自 宅	〒001 札幌市北区屯田5条10丁目354-45 電話 011-773-2766
飯 田 一 博 (九州 P191)	自 宅	〒813 福岡市東区香椎浜2-5-2-210 電話 092-662-7027
星 川 昇 (関東 P109)	事 務 所	〒183 東京都府中市宮西町3-8-1 セザールプラザ府中 729 電話 0423-61-1495

(準 会 員)

中 沢 ひろし (関東 P228)	事 務 所 移 転	〒227 神奈川県横浜市緑区しらとり台61-15 電話 045-982-1733
黒 沢 三智夫 (関東 P226)	支 部 変 更 転 勤 (自 宅)	関 西 支 部 アキレス(株)大阪支店 〒550 大阪市西区西本町1-14-15 電話 06-534-2111 (代) 06-534-2169 (直) 〒618 大阪府三島郡島本町青葉3-2-5-303 (青葉ハイツ) 電話 075-962-1627

(賛 助 会 員)

(株)青島商店 (P247)	事 務 所 移 転 役 員 変 更	港区芝大門1-1-11 代表取締役社長 青 島 賢 治
---------------------	----------------------	--------------------------------

ミサワホーム(株) (P269)	担 当 者 部 署	営業企画部
イビデン(株) (P248)	担 当 者	建材事業本部課長 野 田 博
フランスベッド(株) (P267)	担 当 者	研究部副部長 福 田 耕 生
(株)コトブキ (P253)	担 当 者	武蔵野事業部開発室 藤 沢 稔
東陶機器(株) (P262)	事 務 所 移 転	デザイン部 デザイン課 〒105 東京都港区虎ノ門1-1-28 電話 03-595-9515

委員会開催

〔4月〕 27日 広報委員会
30日 I F I 出版委員会
〃 総務・国際・理事長・事務局長
合同会議

〔5月〕 1日 教育委員会
3日 I F I 出版委員会
(年表委員会)
8日 J I Dパンフレット作成WG
9日 J I Dサロン(仮称)開設P R パーティ(関東事業支部委員会)
11日 教育委員会
13日 交流委員会
14日 出版委員会
〃 広報委員会
〃 関西事業支部 支部総会・懇親会
17日 I F I 出版委員会
20日 J I Dパンフレット作成WG
22日 国際委員会
〃 新マップ専門委員会(出版パーティ)
23日 広報委員会
29日 ・62-1 理事会
・第19回通常総会

〔5月〕 29日 ・協会賞の贈賞式ならびに野口記念賞授与式
・パーティ
30日 教育委員会
「インテリアデザイン教育フォーラム」

〔6月〕 1日 I F I 出版委員会
3日 J I Dパンフレット作成WG
〃 I F I 出版委員会
5日 出版委員会
9日 I F I 出版委員会
15日 交流委員会
〃 J I Dパンフレット作成WG
16日 関東事業支部委員会
18日 総務委員会
19日 交流委員会
「第2回正会員と賛助会員との交流パーティ」
22日 広報委員会
23日 J I Dパンフレット作成WG
25日 教育委員会
26日 国際委員会
＜国際会議「DESIGN 87 アムステルダム」研修旅行説明会＞
〃 出版委員会

〔6月〕 30日 J I Dパンフレット作成WG
 〔7月〕 6日 資格制度対策（委）・教育委員会
 合同委員会
 10日 関東事業支部委員会
 J I Dサロン発足開設パーティ
 “ J I Dパンフレット作成WG
 11日 出版委員会（予定）
 14日 教育委員会（予定）

〔7月〕 16日 国際委員会（予定）
 17日 総務委員会（予定）
 “ 広報委員会（予定）
 20日 関東事業支部委員会 セミナー
 （予定）
 23日 本部運営会議（予定）
 30日 62-2 理事会（予定）

会議・会合出席

〔4月〕 28日 （社）商業施設技術団体連合会・
 理事会
 出席者 渡 辺 優
 〔5月〕 12日 （財）建築技術教育普及センター
 インテリアプランナー試験実施事
 務連絡会議
 出席者 山 品 元
 12日 （社）商業施設技術団体連合会代
 表者懇談会
 出席者 山 品 元
 13日 （社）インテリア産業協会・理事会
 出席者 渡 辺 優
 20日 日本家具デザインセンター
 創立20周年記念式典・祝賀会
 出席者 山 品 元
 22日 （財）日本産業デザイン振興会
 第39回評議員会
 出席者 渡 辺 優
 26日 （財）生活用品振興センター
 62年第1回理事会
 出席者 山 品 元

〔5月〕 27日 （社）商業施設技術団体連合会
 懇親パーティ
 出席者 渡 辺 優
 〔6月〕 17日 JAPANTECH '88 企画懇談会
 出席者 渡 辺 優
 23日 （財）建築技術教育普及センター
 インテリアプランナー企画運営
 委員会 準備委員会
 出席者 渡 辺 優
 26日 （財）日本産業デザイン振興会
 第7回デザイン団体情報交流会
 出席者 山 本 棟 子
 長谷川 隆 之
 山 品 元
 〔7月〕 13日 インテリアプランナー企画運営委
 員会準備会
 出席者 渡 辺 優
 （予定）
 30日 インテリアプランナー企画運営委
 員会準備会
 出席者 渡 辺 優
 （予定）

（敬 称 略）

寄贈図書（・印寄贈者）

	書（誌）名	月 日	備 考
・（財）日本産業デザイン振興会	Life Follows Design — Gマーク 30年 —	62 4・20	
・（社）総合デザイナー協会	「DAS都市美研究」	4・23	
・（社）インテリア産業協会中国支部	インテリア・マップ	4・24	
・（株）日本店装新聞	'87 CITY CREATOR 100 （'87 シティクリエイター100） （'87商業施設企業100社報）	5・11	
・九州東海大学工学部	九州東海大学紀要 工学部第13号	5・15	
・武蔵野美術大学	武蔵野美術大学研究紀要 1986—1987	5・18	
・	館 報 = 16		
・（社）インテリア産業協会	最新版 インテリア・マップ TOKYO AREA	5・27	
・婦 女 界 出 版 社	洋家具とインテリアの様式	6・12	
・（社）福岡県中小企業情報センター	'87 福岡県および九州各県における情報 所在源リスト（機関・団体編）	6・15	

事務局短信

- ① 五月晴れの季節、第19回通常総会が無事終了しました。例年通り会員の熱心な審議参加が得られ、実にスムーズに終了することができました。ご協力の皆様お疲れ様でございました。
- ② 本年は空梅雨とかで、関東地方を中心に水不足が深刻のようです。総会をはさんで、ニュースの発行が予定より遅れました。尚、6月号は残念ながら欠号となりました。お詫びいたします。
- ③ 本号は関西事業支部関係の、充実した内容をお届けすることになりました。どうぞ、他の事業支部の委員

の方も、記事をお寄せ下さいますようお願いいたします。

- ④ 新年度の会費納入が進んでいます。ただ、若干の方が、過年度会費を未納のままにしています。他の会員にそれだけ負担をかける結果になります。該当会員はどうか納入を急いで下さい。
- ⑤ 事務局の8月の予定（夏休み）は次の通りです。期間中にご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどお願いいたします。（事務局）

8月12日（水）、13日（木）、14日（金）

事業支部の動き

● 中部事業支部

昭和62年度中部事業支部総会

昭和62年 6月20日～21日

三重県志摩郡大王町 志摩シーサイド・ヴィラ

出席会員 宇賀, 林, 池田, 大橋, 奥山, 熊谷, 田村,

栃谷, 広瀬, 前田, 村松, 八代, 山本

事務局中村, オブザーバー北出

名古屋から近鉄特急・タクシーで2時間半, 志摩半島の先端, 英虞湾に面する志摩シーサイドヴィラに20日夕方会員が, 三々五々集まった。

17時, 会員総数46名中13名出席委任状19名により62年度中部事業支部総会が開催された。

開会の辞, 支部長挨拶, 議長選出の後, 議事に移り, 昭和61年度事業報告, 昭和61年度収支決算報告, 新会員の紹介, 昭和62年度役員選出の承認に移り全員でこれを承認した。

支 部 長 林 寅 正

総務委員長 池 田 高 明

研究委員長 堀 内 啓 二

交流委員長 安 藤 清

事業委員長 山 本 隆 嗣

広報委員長 田 村 悠

北陸委員長 栃 谷 賢 一

昭和62年度事業計画, 収支予算案について承認した。この後, 本総会の重要案件に移った。1. J I D中部事業支部内規の件, 2. インテリアプランナー制度への対応セミナー開催の件, 3. 世界デザイン博常設展示場(700 m²)の参加の件, 4. 62年11月開催予定のデザインシンポジウムA I C H Iの件等盛りだくさんの検討, 討議を, 食事をはさんで0時30分まで続けられた。酒に酔うほどに活発な意見も交わされたが最後の方では, 疲れからコックリ, コックリと舟を漕ぐ有り様であった。

翌21日, 前日の雨もあがり快晴の会員交流会日よりであった。昨夜の酒の残り花をひきづりながら, 大王崎灯台, 波切, 真珠博物館を見学, 一路伊勢へと移動した。宮内庁・神宮司庁御用達割烹大喜にて, 昼食。絢らん豪華な七夕弁当におもわず全員ケンピシヒヤザケを注文した。伊勢神宮に参拝の後赤福で有名な五十鈴茶屋を見学, お抹茶とお菓子を戴いた。

16時, 楽しかった伊勢路に別れを告げた。

報告 田村 悠



割烹大喜で昼食



和やかに談論風発

JID NEWS

1987 / 7・8

頒価 300 円 (送料共)

昭和62年 7月15日発行

(日本インテリアデザイナー協会月報1987年通巻第146号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

印刷所・(社) コロニー印刷

振替・東京 8-76389